

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2023年第37週
(9月11日～9月17日)

- * 2023年9月20日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「Immunity debt(免疫負債)」も掲載
しています。

令和5年(2023年)9月21日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類）2023年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	47	42	34	42	1,408	239	9,937
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1) 鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ			1		2		2
	細菌性赤痢		1			6		27
	腸管出血性大腸菌感染症	19	17	14	14	305	120	2,652
	腸チフス				1	5	1	29
	パラチフス				1	2	1	7
四類	E型肝炎	1	2	2	3	130	4	400
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					6	1	36
	エキノコックス症							10
	エムボックス		1		4	146	6	195
	黄熱							
	オウム病							7
	オムスク出血熱							
	回帰熱						1	18
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						1	112
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							2
つつが虫病					5		114	
デング熱	2	5	1		29	7	96	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	13	305
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア				2	6	3	19
	野兔病							
	ライム病					1		22
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
レジオネラ症	4	6	3	4	114	58	1,538	
レプトスピラ症		1			2		23	
ロッキー山紅斑熱								

2023/9/20集計

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 42件 患者 29件(肺結核 24件、その他の結核 5件)、無症状病原体保有者 13件、年齢は5歳未満 2件、20代 4件、30代 6件、40代 3件、50代 3件、60代 3件、70代 5件、80代 12件、90歳以上 4件、推定感染地は国内 24件、フィリピン 2件、ミャンマー 1件、中国 1件、不明 14件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 14件 患者 9件、無症状病原体保有者 5件、血清型・毒素型はO26 VT1 3件、O26 VT(型不明) 1件、O103 VT1 1件、O115 VT1 1件、O157 VT1・VT2 4件、O157 VT2 1件、血清型不明VT1 1件、血清型不明VT2 1件、血清型不明VT(型不明) 1件、年齢は5～9歳 1件、10代 2件、20代 7件、30代 2件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 10件、韓国 2件、不明 2件、推定感染経路は経口感染 6件、不明 8件であった。

腸チフス 1件 患者、年齢は50代、推定感染地はインドネシア、推定感染経路は経口感染であった。

パラチフス 1件 無症状病原体保有者、年齢は50代、推定感染地はバングラデシュ又はメキシコ又はタイ、推定感染経路は不明であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 3件 患者 3件、年齢は40代 1件、60代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 1件、不明 2件であった。

エムポックス 4件 性別は男性 4件、年齢は30代 3件、40代 1件、推定感染地は国内 4件であった。

マラリア 2件 病型は熱帯熱 2件、年齢は20代 2件、推定感染地はウガンダ 1件、コンゴ共和国 1件であった。

レジオネラ症 4件 病型は肺炎型 4件、年齢は60代 1件、70代 2件、80代 1件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は水系感染 2件、不明 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類）2023年37週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		34週	35週	36週	37週	年累計	37週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	5	1			66	4	360
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	1				37	1	179
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	4	2	3	4	145	42	1,367
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1					5	1	44
	急性脳炎 *2	1		3		25	4	386
	クリプトスポリジウム症					1	1	8
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	16	4	113
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	3	1	83	11	591
	後天性免疫不全症候群	5	5	2	3	217	6	668
	ジアルジア症	1				9		32
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2	1	1	1	34	9	397
	侵襲性髄膜炎菌感染症					1		11
	侵襲性肺炎球菌感染症	7	5	2	5	141	20	1,259
	水痘(入院例に限る)	1			1	48	4	264
	先天性風しん症候群							
	梅毒	79	75	60	68	2,655	171	10,657
	播種性クリプトコックス症		1			13	1	121
	破傷風					4	1	75
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1			7		87
百日咳	5	1	1		90	18	664	
風しん					4		10	
麻しん		1			7*3		25	
薬剤耐性アシネトバクター感染症					1		11	

2023/9/20集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*3 遺伝子検査陰性1例を含む。

〈五類感染症〉

カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 4件 病原菌は*Enterobacter cloacae* complex 2件、*Klebsiella oxytoca* 1件、*Escherichia coli* 1件、年齢は5歳未満 1件、60代 3件、推定感染地は国内 3件、不明 1件、推定感染経路は手術部位感染 1件、医療器具関連感染(中心静脈カテーテル) 1件、以前からの保菌又は医療器具関連感染(腹腔ドレーン) 1件、不明 1件、90日以内の海外渡航歴は渡航なし 4件であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 孤発性-古典型CJD、年齢は40代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 血清群はA群、年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

後天性免疫不全症候群 3件 AIDS 1件、無症候キャリア 2件、性別は男性 3件、AIDS患者の年齢は60代、無症候キャリアの年齢は20代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 1件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は5～9歳、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は4回接種済みであった。

侵襲性肺炎球菌感染症 5件 血清型は未実施 5件、年齢は5歳未満 1件、70代 2件、80代 2件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 4件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 2件、不明 3件であった。

水痘(入院例) 1件 臨床診断例、年齢は40代、推定感染地は不明、推定感染経路は接触感染、水痘ワクチン接種歴は接種なしであった。

梅毒 68件 患者 56件(早期顕症梅毒Ⅰ期 27件、早期顕症梅毒Ⅱ期 28件、晩期顕症梅毒 1件)、無症候梅毒 12件、性別は男性 51件、女性 17件、年齢は10代 2件、20代 24件、30代 12件、40代 16件、50代 8件、60代 4件、70代 2件、推定感染地は国内 60件、タイ 1件、不明 7件、推定感染経路は性的接触 64件(同性間 9件、異性間 50件、性別不明 5件)、不明 4件であった。

※ 第36週該当分として〔四類〕デング熱 1件、〔五類〕劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件、梅毒 1件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2023年37週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		34週	35週	36週	37週		
小児科	RSウイルス感染症	85 0.33	72 0.28	55 0.21	41 0.16	262	264
	咽頭結膜熱	222 0.87	305 1.17	302 1.15	426 1.63		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	270 1.06	349 1.34	441 1.68	462 1.76		
	感染性胃腸炎	834 3.27	955 3.67	964 3.68	990 3.78		
	水痘	29 0.11	16 0.06	29 0.11	22 0.08		
	手足口病	206 0.81	259 1.00	338 1.29	469 1.79		
	伝染性紅斑	8 0.03	5 0.02	4 0.02	13 0.05		
	突発性発しん	59 0.23	71 0.27	80 0.31	90 0.34		
	ヘルパンギーナ	181 0.71	202 0.78	166 0.63	156 0.60		
	流行性耳下腺炎	2 0.01	13 0.05	13 0.05	13 0.05		
	川崎病 ^{*1}	3 0.01	7 0.03	5 0.02	2 0.01		
	不明発しん症 ^{*1}	12 0.05	20 0.08	15 0.06	12 0.05		
	インフル エンザ /COVID -19	インフルエンザ ^{*2}	576 1.40	1,226 2.95	2,481 5.95		
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)		5,956 14.53	7,046 16.98	6,824 16.36	6,688 16.04		
眼科	急性出血性結膜炎			1 0.03		39	39
	流行性角結膜炎	22 0.58	24 0.62	34 0.87	38 0.97		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}		3 0.12	1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎	1 0.04	3 0.12				
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04	1 0.04		1 0.04		
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) ^{*4}			1 0.04			
	インフルエンザ入院	12 0.48	16 0.64	10 0.40	12 0.48		

2023/9/20集計

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザの定点当たり報告数は11.37となり、注意報レベルとなりました。
- ・ 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) は前週より減少していますが、今後の動向に注意が必要です。
- ・ 咽頭結膜熱は前週より増加しており、千代田・みなと・文京・目黒区・世田谷・江戸川保健所管内で警報レベルを超えています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年37週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	9	2		9		2		1			
6～11か月	9	12		60		24	1	18	9		
1歳	9	64	10	167		106	4	49	36		1
2歳	5	76	19	101	1	110	2	11	27		
3歳	4	62	26	91		90	1	7	20	1	1
4歳	1	65	56	73	3	53		2	15		
5歳	1	62	61	87	1	41	1	1	16		
6歳		45	79	67	3	22	2		14	6	
7歳		17	61	55	8	6			10		
8歳		4	49	56	2	6	2	1	4	1	
9歳		2	18	27	2	2			2	1	
10～14歳		6	54	101	2	6			1	3	
15～19歳	2	1	4	27							
20～29歳	1	8	25	69		1			2	1	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	41	426	462	990	22	469	13	90	156	13	2
先週比	-14	124	21	26	-7	131	9	10	-10		-3

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイ ルス感染症 (COVID-19)	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		8	31								
6～11か月	3	16	73								
1歳	3	60	107		3						
2歳	1	119	77		1						
3歳	3	133	69								
4歳	1	153	76		1						
5歳		228	109		1						2
6歳	1	241	141								
7歳		325	171		1						2
8歳		361	211		1						
9歳		280	245								
10～14歳		1,167	1,241		1						1
15～19歳		720	948		1						2
20～29歳		252	441		5						1
30～39歳		195	573		8						
40～49歳		299	716		8						
50～59歳		123	622		2						1
60～69歳		36	375		2						
70～79歳		18	275		3			1			2
80歳以上		8	187								1
合計	12	4,742	6,688		38			1			12
先週比	-3	2,261	-136	-1	4	-1		1		-1	2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数【保健所別】 2023年37週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	1.00	4.00	1.00			2.67					
中央区		0.67	0.67	4.00		0.33					
みなと	0.33	3.17	2.00	1.83	0.17	1.33		0.17	0.83		
新宿区	0.71	3.00	0.71	2.14		0.14	0.14	0.14			
文京		3.25	1.25	1.00	0.25			0.75	0.25		
台東		1.75	2.50	5.25		5.75		0.75	0.75		
墨田区		0.60	0.80	2.00		0.60		0.20	0.20		
江東区	0.22	2.00	0.89	4.33	0.11	1.22		0.22	0.44	0.11	
品川区		1.25	3.00	2.63		1.38			0.13		
目黒区	0.60	3.40	1.80	1.80		2.40			0.40		
大田区	0.08	2.23	1.38	7.23	0.08	1.69	0.08	0.38	0.23	0.08	
世田谷	0.31	3.88	1.75	3.44	0.38	2.00		0.31	1.19	0.13	
渋谷区			1.00	3.25		0.75		0.25	0.25		
中野区	0.17	0.67	4.83	5.50	0.33	0.50		0.67	0.17		
杉並	0.27	1.45	0.91	3.55	0.09	0.73		0.45	0.18		0.09
池袋	0.20	1.20		0.80		0.80			1.40		
北区	0.14	0.43	1.29	2.43	0.57	3.14		0.57	0.14		
荒川区	0.25	0.75	1.75	5.75		4.00		0.75	1.25		
板橋区	0.10	0.60	0.80	3.30		0.70		0.10			
練馬区	0.15	1.23	2.08	3.62		1.92	0.15	0.46	1.54		
足立	0.08	0.62	0.38	4.54		1.38		0.54	0.38	0.08	
葛飾区		1.13	0.13	2.88		2.25			0.75		
江戸川		3.75	2.92	3.08	0.17	2.08		0.33	0.67		
八王子市	0.18	2.18	2.27	8.18		2.55		0.36	1.00		
町田市		0.63	1.50	6.25	0.13	4.75		0.38	1.50	0.25	
西多摩		1.50	0.13	1.25		3.00		0.13	0.25	0.13	
南多摩		1.89	0.33	2.44		0.56		0.44	0.56	0.11	
多摩立川		0.07	2.00	2.36		2.14			0.57		
多摩府中	0.10	1.14	4.00	3.52	0.10	1.62	0.43	0.38	0.48	0.14	
多摩小平	0.36	1.00	3.29	6.57		2.07		1.00	0.93	0.07	0.07
島しょ											
東京都	0.16	1.63	1.76	3.78	0.08	1.79	0.05	0.34	0.60	0.05	0.01

	小児科	インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイルス 感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		7.25	15.00								
中央区		11.00	7.20								
みなと		8.22	10.78					1.00			
新宿区		9.36	11.64		1.00						
文京	0.50	18.29	11.57		2.00						
台東		11.43	11.57								
墨田区		11.38	21.63								
江東区		15.71	12.50								
品川区		5.33	8.33								
目黒区		10.00	13.00		1.00						
大田区		10.38	12.86								
世田谷	0.06	13.56	17.60		4.00						1.50
渋谷区		7.43	11.00		2.00						
中野区		20.30	22.00								
杉並		13.06	16.53		1.00						1.00
池袋		11.75	16.88		1.00						
北区		9.55	21.55								
荒川区	0.25	16.29	21.86								
板橋区		8.19	14.38								
練馬区	0.08	10.62	17.00		0.50						
足立		6.70	14.70								
葛飾区		9.92	16.92		2.00						1.00
江戸川		11.47	17.47								
八王子市	0.18	16.67	20.50		5.50						1.00
町田市	0.13	5.85	15.46		1.00						
西多摩		5.00	11.57								
南多摩		10.86	14.43		1.00						
多摩立川	0.07	8.52	14.52		1.00						
多摩府中	0.14	15.70	21.00		1.00						1.00
多摩小平		15.41	20.45								1.00
島しょ		1.00	12.50								
東京都	0.05	11.37	16.04		0.97			0.04			0.48

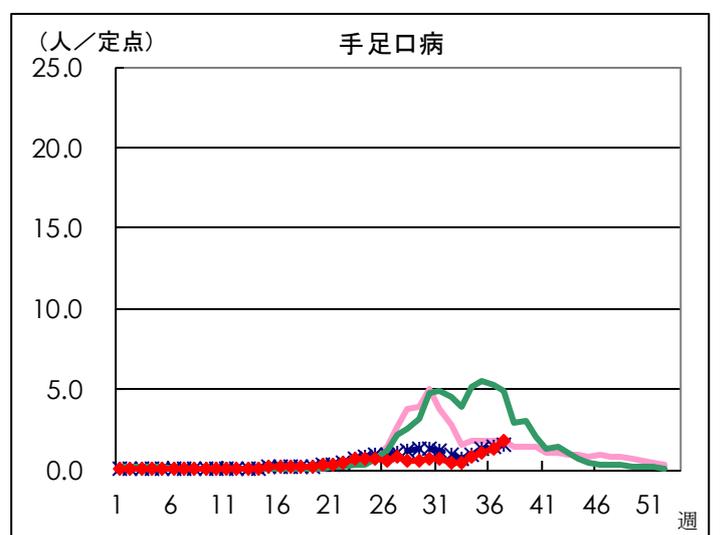
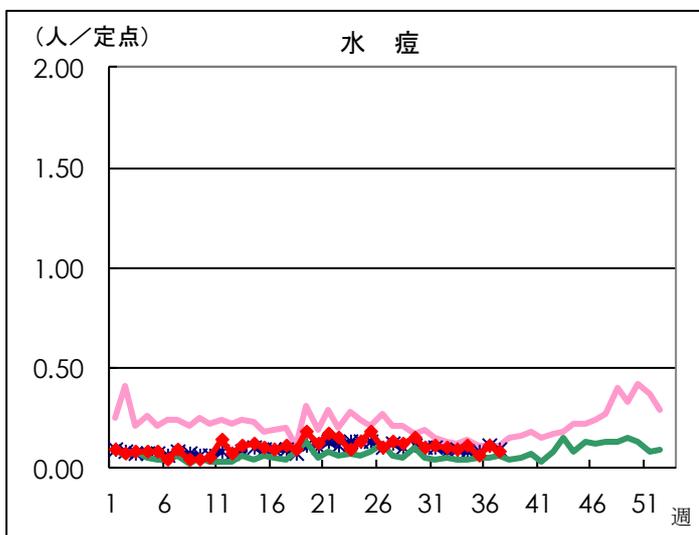
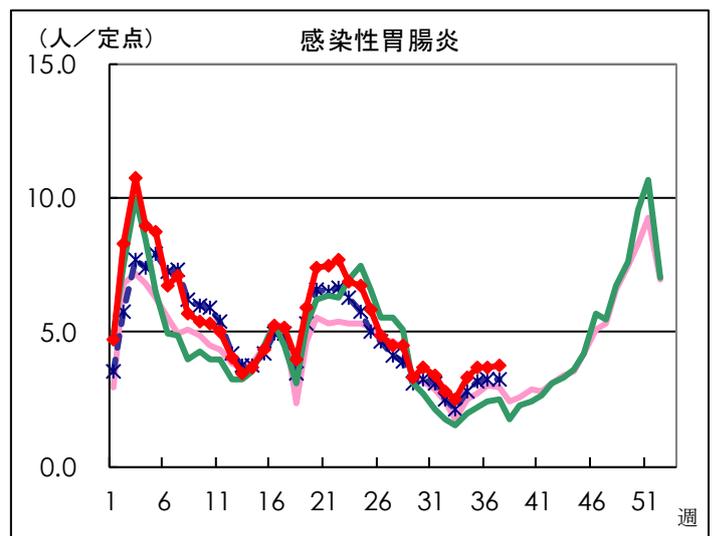
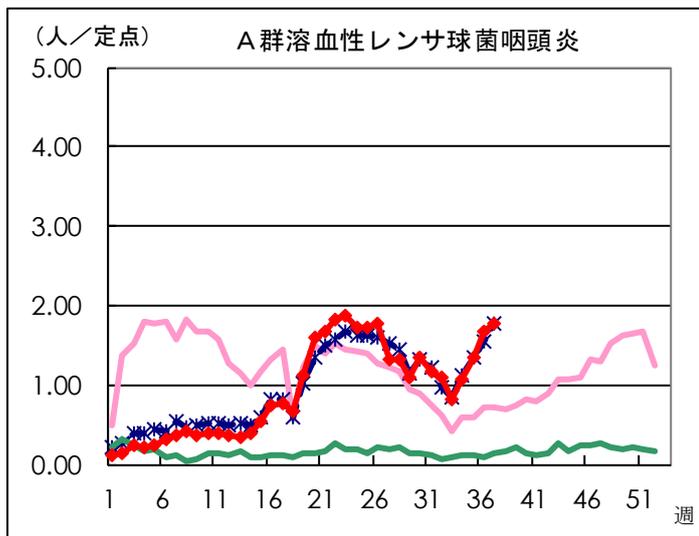
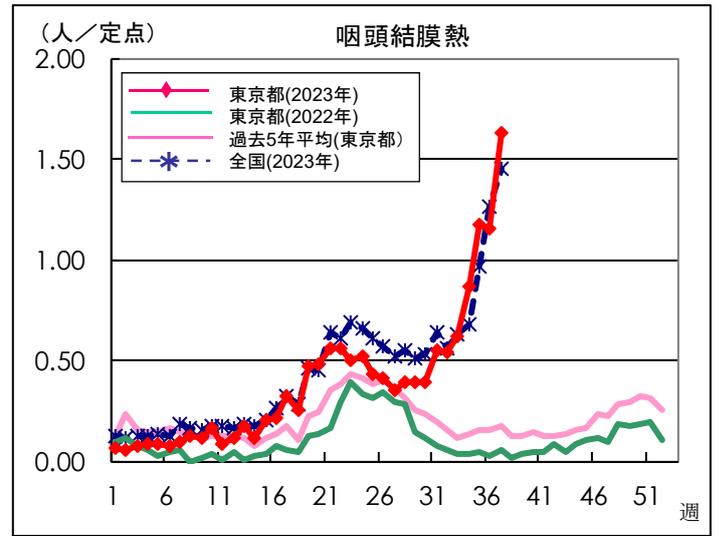
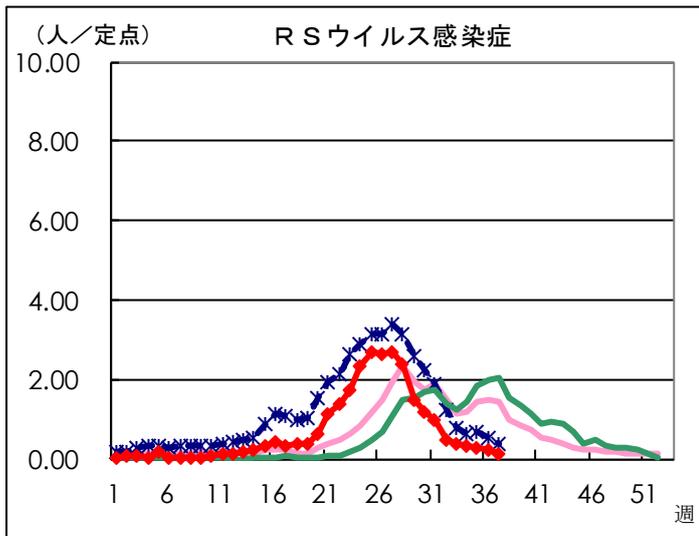
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年37週

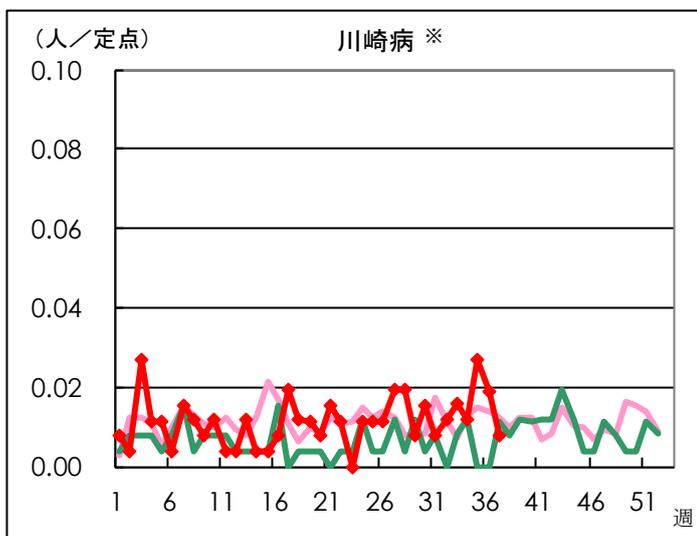
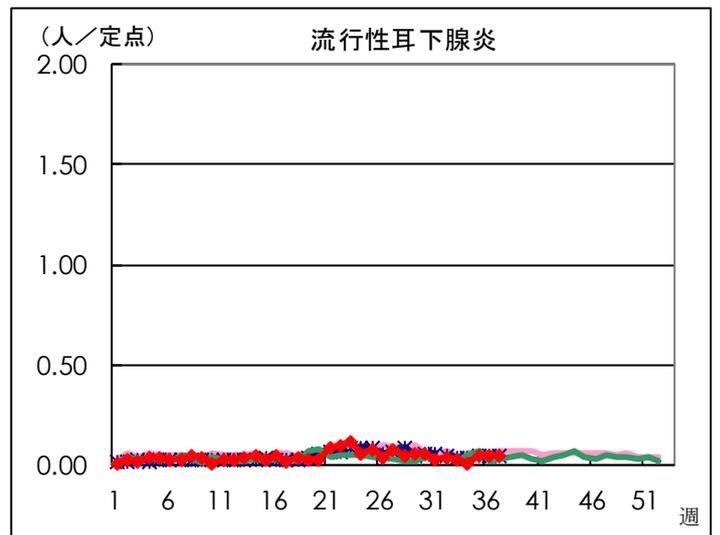
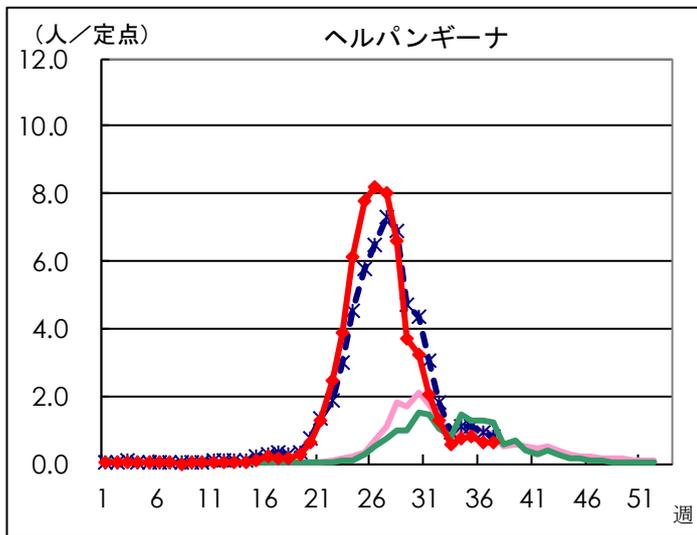
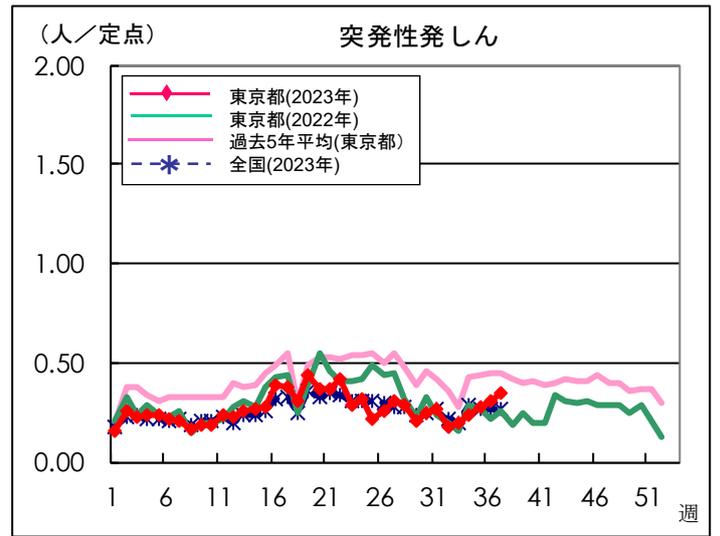
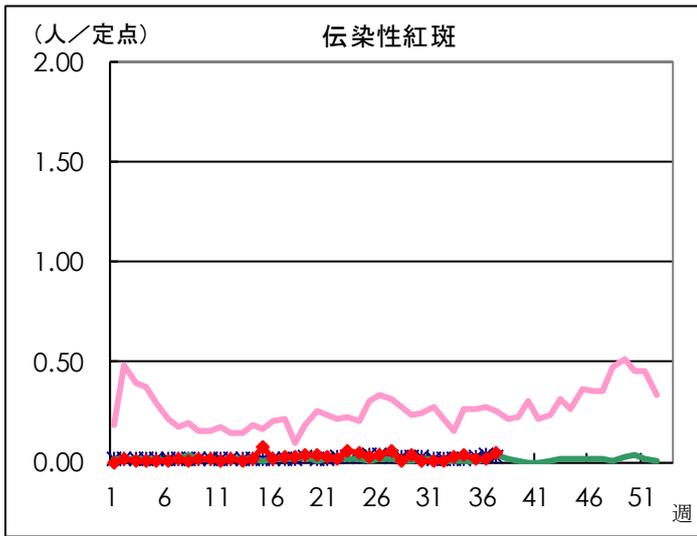
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田	3	12	3			8					
中央区		2	2	12		1					
みなと	2	19	12	11	1	8		1	5		
新宿区	5	21	5	15		1	1	1			
文京		13	5	4	1			3	1		
台東		7	10	21		23		3	3		
墨田区		3	4	10		3		1	1		
江東区	2	18	8	39	1	11		2	4	1	
品川区		10	24	21		11			1		
目黒区	3	17	9	9		12			2		
大田区	1	29	18	94	1	22	1	5	3	1	
世田谷	5	62	28	55	6	32		5	19	2	
渋谷区			4	13		3		1	1		
中野区	1	4	29	33	2	3		4	1		
杉並	3	16	10	39	1	8		5	2		1
池袋	1	6		4		4			7		
北区	1	3	9	17	4	22		4	1		
荒川区	1	3	7	23		16		3	5		
板橋区	1	6	8	33		7		1			
練馬区	2	16	27	47		25	2	6	20		
足立	1	8	5	59		18		7	5	1	
葛飾区		9	1	23		18			6		
江戸川		45	35	37	2	25		4	8		
八王子市	2	24	25	90		28		4	11		
町田市		5	12	50	1	38		3	12	2	
西多摩		12	1	10		24		1	2	1	
南多摩		17	3	22		5		4	5	1	
多摩立川		1	28	33		30			8		
多摩府中	2	24	84	74	2	34	9	8	10	3	
多摩小平	5	14	46	92		29		14	13	1	1
島しょ											
東京都合計	41	426	462	990	22	469	13	90	156	13	2

	小児科		インフルエンザ/COVID-19		眼科		基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	新型コロナウイル ス感染症 (COVID-19)	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		29	60								
中央区		55	36								
みなと		74	97					1			
新宿区		103	128		2						
文京	2	128	81		2						
台東		80	81								
墨田区		91	173								
江東区		220	175								
品川区		64	100								
目黒区		80	104		1						
大田区		218	270								
世田谷	1	339	440		8						3
渋谷区		52	77		2						
中野区		203	220								
杉並		222	281		1						2
池袋		94	135		1						
北区		105	237								
荒川区	1	114	153								
板橋区		131	230								
練馬区	1	223	357		1						
足立		134	294								
葛飾区		129	220		2						1
江戸川		218	332								
八王子市	2	300	369		11						1
町田市	1	76	201		1						
西多摩		70	162								
南多摩		152	202		1						
多摩立川	1	179	305		2						
多摩府中	3	518	693		3						3
多摩小平		339	450								2
島しょ		2	25								
東京都合計	12	4,742	6,688		38			1			12

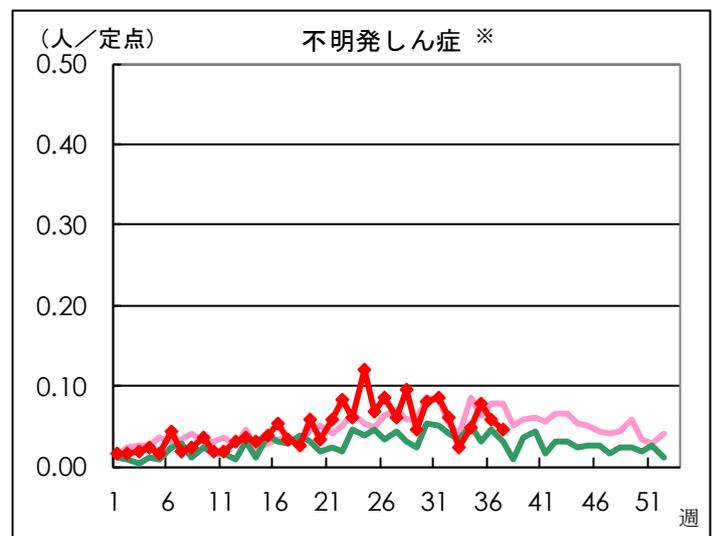
定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年37週 現在)

◆ 小児科定点



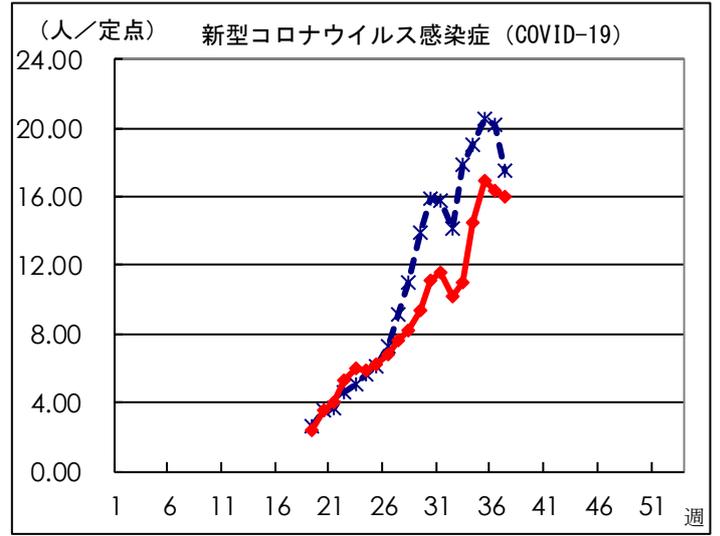
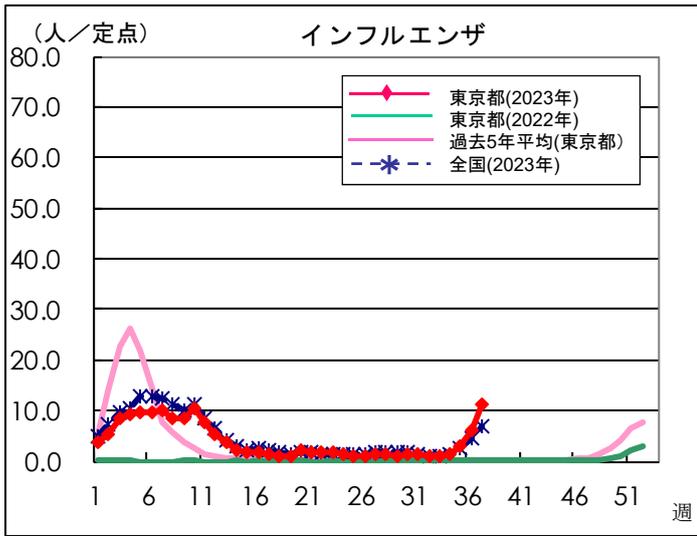


※ 東京都独自対象疾患

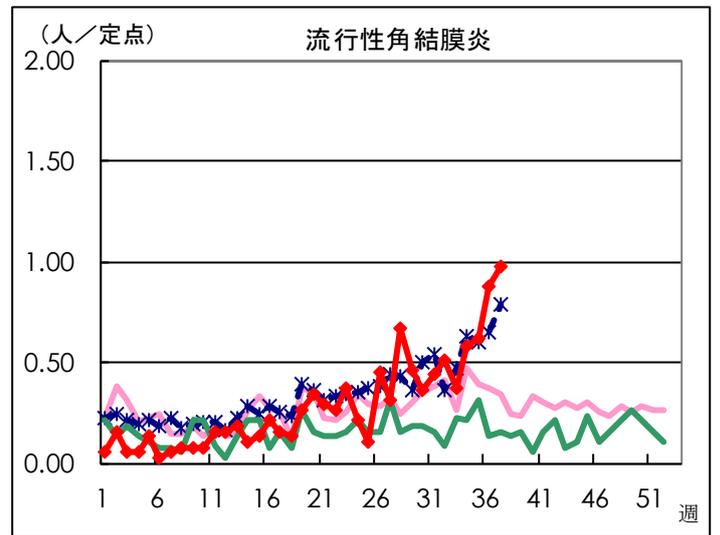
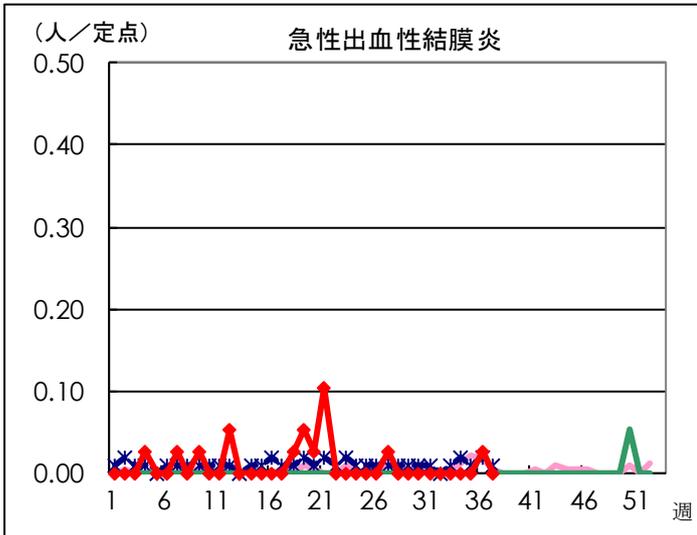


※ 東京都独自対象疾患

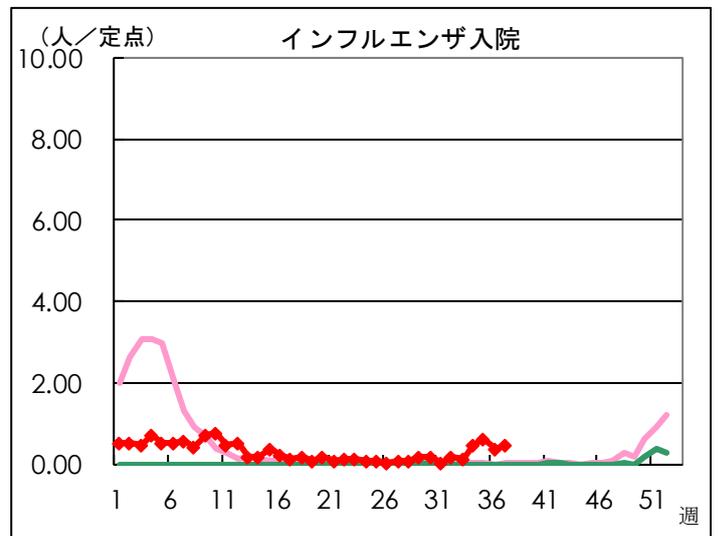
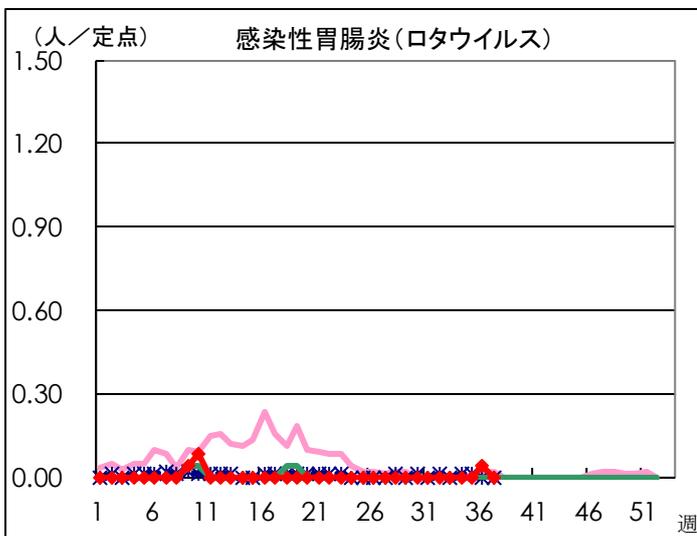
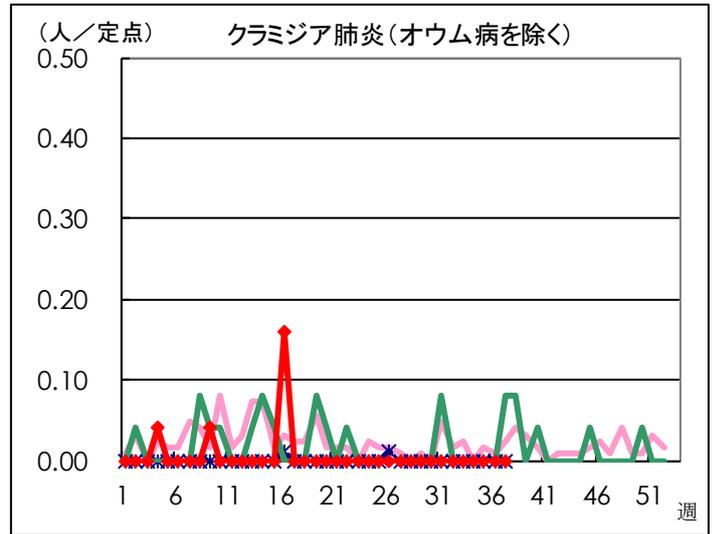
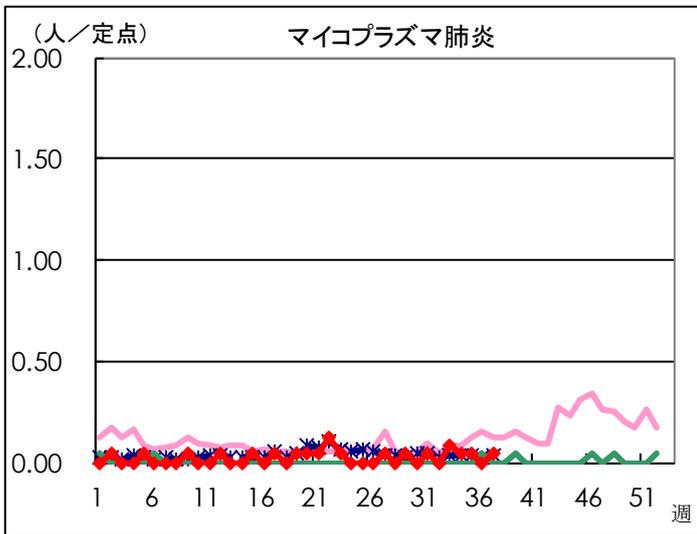
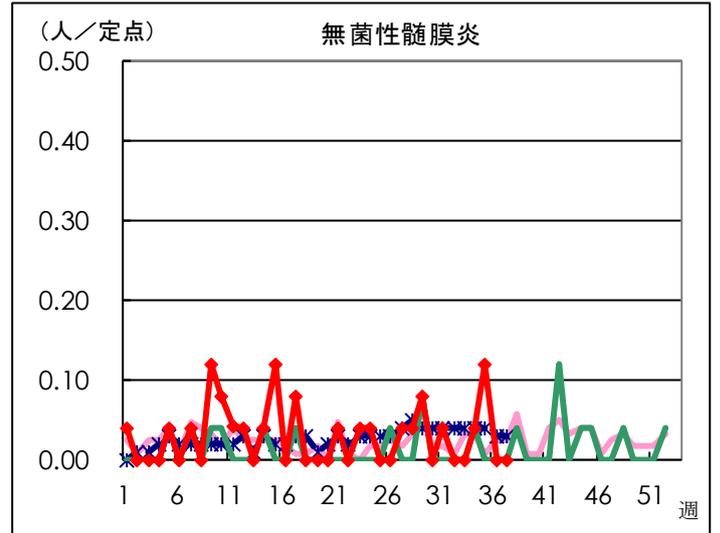
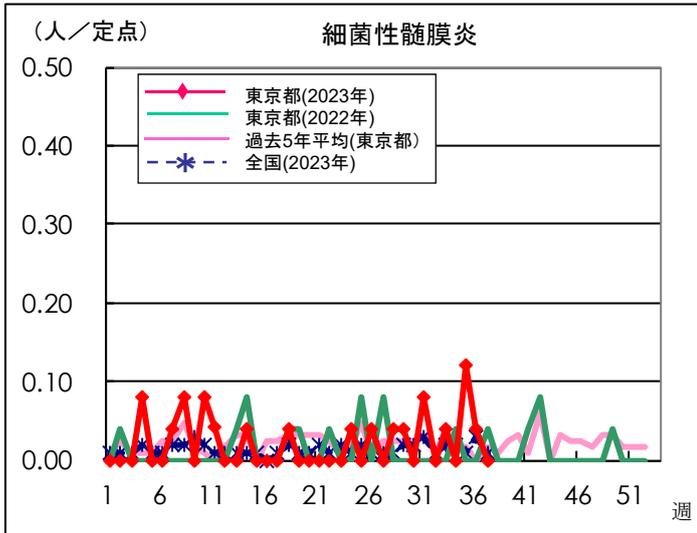
◆ インフルエンザ/COVID-19定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	年齢	検査試料	検出病原体
8/22	流行性角結膜炎	26	結膜拭い液	アデノウイルス64型
8/23	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルスC種
8/26	インフルエンザ様疾患	56	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
8/29	インフルエンザ様疾患	9	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスAH3亜型※ ライノウイルス
8/29	インフルエンザ様疾患	45	咽頭拭い液	SARS-CoV-2
8/31	インフルエンザ様疾患	47	咽頭拭い液	SARS-CoV-2

※ 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年35週		5		
2022-2023年 シーズン累計*	10	132	4	

* 2022-2023年シーズンの開始は第36週(2022年9月5日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2023年							
	28週	29週	30週	31週	32週	33週	34週	35週
アデノウイルス				1			1	2
コクサッキーウイルスA群	2	1	1				1	
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71	2							
その他のエンテロウイルス					1			
ライノウイルス		1	2	3		1	1	1
ヒトメタニューモウイルス		2			1			
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1			2	2			
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)						1		
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス	1	1		1	1			
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09	2	1		1			1	
インフルエンザウイルスAH3亜型			2		2	1		5
インフルエンザウイルスB型Victoria系統								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
SARS-CoV-2	2		1			1		3
その他のウイルス			1		1	2		
A群溶血性レンサ球菌T-1型								
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型								
A群溶血性レンサ球菌T-12型		4	2					
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			1			1		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2023年28週～2023年35週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
搬入検体数	3	4	9	3		5		4	2	2		11	14	18		4		3		
アデノウイルス		2												1		1				
コクサッキーウイルスA群		1				2			1					1						
コクサッキーウイルスB群																				
エコーウイルス																				
エンテロウイルス71						2														
その他のエンテロウイルス									1											
ライノウイルス		2											3	4						
ヒトメタニューモウイルス														3						
単純ヘルペスウイルス																				
水痘・帯状疱疹ウイルス																				
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								3					2							
EBウイルス																				
サイトメガロウイルス																				
ムンプスウイルス																				
麻疹ウイルス																				
麻疹A型(ワクチンタイプ)													1							
風しんウイルス																				
風しん1a型(ワクチンタイプ)																				
ヒトパルボウイルスB19																				
RSウイルス	3													1						
ノロウイルス																				
ロタウイルス																				
サポウイルス																				
インフルエンザウイルスAH1pdm09													5							
インフルエンザウイルスAH3亜型													9	1						
インフルエンザウイルスB型Victoria系統																				
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																				
SARS-CoV-2															7					
その他のウイルス													1	2				1		
A群溶血性レンサ球菌T-1型																				
A群溶血性レンサ球菌T-3型																				
A群溶血性レンサ球菌T-4型																				
A群溶血性レンサ球菌T-12型			6																	
A群溶血性レンサ球菌T-25型																				
A群溶血性レンサ球菌T-28型																				
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																	
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																				
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																				
百日咳菌																				
肺炎マイコプラズマ																				
肺炎クラミジア																				
髄膜炎菌																				
B群レンサ球菌																				
肺炎球菌																				
インフルエンザ菌																				
黄色ブドウ球菌																				
大腸菌																				
その他の細菌																				
その他の病原体																				

<感染症豆知識>

Immunity debt (免疫負債)

「子どもの『免疫負債』波紋 感染症、適切な年齢でかからず コロナ対策の産物」。これは筆者が取材を受けた時の産経新聞(2021年12月30日掲載)の記事のタイトルである。同年の夏には子どもたちの間でRSウイルス感染症が大流行し、フランスの研究者が使った「Immunity debt」という言葉が登場した。この記事で筆者は「コロナ禍における厳密な感染対策はさまざまなウイルスを遠ざける一方、子どもたちが本来の年齢に免疫を獲得できない状況をもたらした」と指摘。コロナの流行抑制で衛生対策の緩みも生じる中、「免疫の貯金が十分でない子どもたちの間で、想定外の感染症が広がりかねない状況が生まれている」とコメントした。

本年5月以降、新型コロナの5類への移行に伴いさまざまな感染症が流行している。日本では、免疫負債の期間が海外に比べ長く免疫の貯金が十分でない年齢層が広いと、当面この状態が続くと考えられる。新型コロナもオミクロン株になってからの1年間に、10歳未満の子どもが約40名亡くなっている。新型コロナワクチンは重症化を防ぎ、命を守るためのワクチンであることを今一度認識したい。そして、基本的な感染対策を徹底することが肝要と考える。手洗い・手指消毒、三密を避け通風換気、人混みではマスクを着用、体調不良時にはマスクと休養が大事である。

感染症はイエスかノーの世界ではない。身体に入り込む病原体の量を少しでも減らし、重症化を防ぎつつ免疫の貯金を蓄えていくことが大切であることを今更ながらに理解したのである。今こそ子どもたちを守るための行動を！

(文責 クリニックばんびいに (港区医師会 東京小児科医会) 時田章史)